

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 14 日

事務事業名		桜川筑西IC周辺都市整備推進事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	050102000415	
						単独/補助	補助			
政策体系上の位置付け								所属課	025201	
政策体系	総合計画の施策名	0501 計画的な土地利用の推進							地域開発課	
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり						課長名		
	施策名	01 計画的な土地利用の推進						グループ	拠点整備G	
	手段名	02 ②拠点の市街地の形成						担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	17	01	00	桜川筑西IC周辺地区開発整備事業			
法令根拠		都市計画法等				事業期間		単年度繰返し (平成27年度~)		
								期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>平成20年4月に北関東自動車道桜川筑西ICが開通したことを契機として、IC周辺地区の発展が期待されたことから、ICを活用したまちづくりの検討が行われ、平成21年4月に桜川筑西IC周辺整備構想を策定し、平成25年6月に桜川筑西IC周辺地区整備計画を策定した。</p> <p>平成27年度より大和駅北側の開発整備を推進しており、平成30年10月にさくらがわ地域医療センターが開院し、現在も基幹道路や都市公園、住宅地の整備を進めている。</p> <p>桜川市第2次総合計画及び桜川市田園都市づくりマスタープランにおいて複合都市拠点に位置づけ、将来的な市街化区域の拡大の検討を視野に、計画的かつ段階的な都市機能の誘導と市街地整備の推進を図っている。</p>		<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>①社会経済動向を勘案し、整備方針等を立案 ⇒ 桜川未来プロジェクトを通して、整備方針を検討 ⇒ 再検討などを通し、精度を高め企画する</p> <p>②計画に基づき、市が実施すべき事業を実施</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・桜川筑西IC周辺地区(大和駅北地区)整備計画の検討 ・当該エリアへの企業誘致の推進 ・事業に関係する地権者対応	担当課調整会議	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	企業ヒアリング	社	2.00	5.00	3.00	3.00	3.00
	地権者説明会等の開催回数	回	1.00	0.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・IC周辺地区の土地所有者 ・医療、福祉、商業などの施設	IC周辺地区の土地所有者数	人	68.00	68.00	68.00	68.00	68.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
桜川筑西IC周辺地区の整備方針を明確にし、土地利用の誘導及び企業誘致を推進する	IC周辺地区への企業等誘致数	社	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	60,000	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	327,568	262,900	164,000			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	8,319	26,142	18,018			
	事業費計(A)	千円	395,887	289,042	182,018			
正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人				

04年度事業費 実績 (千円)

05年度事業費 予算 (千円)

01 報酬	1,664		01 報酬	1,851	
03 職員手当等	301		03 職員手当等	359	
11 役務費	39		08 旅費	24	
12 委託料	25,859		11 役務費	10	
13 使用料及び賃借料	1,136		12 委託料	20,401	
14 工事請負費	260,033		13 使用料及び賃借料	1,136	
18 負担金補助及び交付金	10		14 工事請負費	149,776	
			16 公有財産購入費	8,450	
			18 負担金補助及び交付金	10	
			21 補償補填及び賠償金	1	
	合計	289,042		合計	182,018

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
	大和駅北公園整備事業	開発事業区域内整備事業	開発事業区域内整備事業

事務事業名	桜川筑西IC周辺都市整備推進事業	事務事業No.	50102000415	所属課	地域開発課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成20年4月の北関東自動車道桜川筑西ICの開通を契機として、桜川筑西ICを活用した地域振興の指針を示す必要があり、これらをまとめたものとして、桜川筑西IC周辺都市整備構想を平成21年3月に策定した。それをさらに具体化するため、平成25年6月には、桜川筑西IC周辺地区整備計画を策定し、地権者対応やインフラ整備など、複合的に事業を進めてきた。平成25年9月には、長方準工業地域にホームセンターコメリが新店（2ha）したため、今後の企業進出が期待された。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
議会：桜川筑西IC周辺について、企業誘致の早期実現を望んでいる。 都市計画審議会：桜川筑西IC周辺都市整備について、早期実現を要望している。 地元住民：企業等誘致の早期実現が望まれている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 第2次総合計画において、将来的な市街化区域への編入を視野に、計画的かつ段階的なインフラの整備と医療、福祉、商業その他の高次都市機能の集積を図り、市の中核となる新たな複合都市拠点の形成を推進する事に位置付けられているので結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 桜川筑西IC周辺地区は、桜川市振興の拠点地区であり、都市整備の推進は、桜川市の責務と考えられる。また、土地活用および企業誘致は地権者の努力だけでは実現が困難である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 桜川筑西IC周辺地区整備計画に基づき、企業誘致や拠点整備を積極的に推進することにより、租税や雇用の面、業種によっては市のイメージアップにも寄与するなど、「桜川市の活性化」が期待できる。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 桜川市の拠点整備が遅れることになり、与える影響は大きい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 企業誘致推進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 都市基盤の整備には、莫大な経費が掛かることから、企業誘致の動向とタイミングを合わせて実施していくことで、先行投資のリスクを解消することが見込まれる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 民間企業との連携により、都市基盤の整備に掛かるコストは削減できる可能性が見込める。また、地権者の積極的な同意が得られれば、地権者意向をまとめるための時間と人件費の削減が期待できる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 桜川市の地域振興のための事業であり、公平性は担保されていると考えられる。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	・民間開発事業者による商業施設開発整備については、事業化が困難になりつつあるため、本事業を新たな開発事業者に継承する事を念頭に置き、事業実現に向けて関係者等と協議・調整し、検討・検証を迅速に進めていく。 ・なお、市で計画している縁辺のインフラ整備においても、今後の整備計画を一部見直し、事業手法を検証しながら進めていく。	
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
(3) 今後の事業の方向性			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		
(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）		(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 ・地区内整備を進めると共に、民間開発事業者への土地斡旋、公募等の検討を行い「桜川市産業立地及び雇用の促進に関する条例」奨励金の広報など、誘致活動を行う。	
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果		②	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>